

大阪国際がんセンターを受診された患者さんへ

【臨床研究に関する情報公開】

当院では下記の臨床研究を実施します。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診断情報および保存検体を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合や、本件についてのご質問やお申し出等ある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名

T細胞リンパ腫における新規治療標的としての免疫調整分子に関する研究

研究の目的

近年血液悪性疾患においては様々な新薬が開発され、予後の改善が認められている疾患も増えてきている中で、成人 T 細胞白血病(ATL)を含む T 細胞リンパ腫においては、まだまだ予後不良である状況が続いており、さらなる治療法の開発が望まれています。特に単剤では有効性を示す薬剤が開発されてきている一方で、そのような単剤療法の欠点として奏効率が低いこと、奏効の持続期間が短くほぼ全例で再発を認めることが挙げられます。

この問題を解決する一つ的手段としては既存の薬剤にさらに新たな抗原を標的とした治療を併用することで効果を高めることが望まれています。T細胞リンパ腫は多種多様の免疫調整因子の発現を認めますが、正常細胞とは発現パターンの異なる抗原が既に知られているよりも多数あるものと考えられています。

本研究の目的は、T細胞リンパ腫における新規治療標的としての免疫調整因子の同定であり、そのような新規の治療標的を同定することで T細胞リンパ腫における治療成績の向上に寄与することが期待されます。

研究方法

1)対象となる方

- ①T細胞リンパ腫と診断された 20 歳以上の患者さん
- ②包括同意などで 2010 年 1 月以降 2025 年 1 月までに生検検体が参加施設で保存されている患者さん

2)研究方法

研究に使用する試料:上記期間中に通常臨床にて作成し保存されている検体

研究に使用する情報:性別、年齢、治療内容、臨床経過

上記の保存検体を用いて病理学的に免疫染色を行った上で、免疫調整因子発現の有無の評価を行います。

3) 試料・情報の共同研究機関への提供

本研究では、当院で保存している試料・情報に加えて、共同研究機関より提供された試料・情報も使用します。検体は、本研究の共同研究機関である埼玉医科大学総合医療センターに提供され、病理学的評価を行います。ただし、特定の個人を判別できないように匿名化され提供されます。匿名化は本研究にて新たに No.001 番から検体分かるように(No. IHC-OICI-001、No. IHC-OICI-002)と ID を付与します。

4) 研究期間

研究実施許可日から2027年3月31日まで

個人情報の取り扱い

研究において、ID や氏名等の個人を特定できる情報は使用いたしません。また、結果により研究成果は学会発表や学術雑誌への掲載を予定しておりますが、その際も個人を特定できる情報は使用いたしません。

参加の拒否について

本研究への参加についてご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記のお問い合わせ先にご連絡ください。試料・情報の使用を断られても不利益が生じることはありません。なお、研究参加拒否の申出が、既に解析を開始又は結果公表等の後となる場合、当該措置を講じることが困難な場合もございます。

研究代表者及び当院の研究責任者

大阪国際がんセンター 血液内科 藤 重夫

当院の研究者

大阪国際がんセンター 血液内科 石川 淳

大阪国際がんセンター 血液内科 横田 貴史

大阪国際がんセンター 血液内科 藤 重夫

大阪国際がんセンター 血液内科 油田 さや子

大阪国際がんセンター 血液内科 多田 雄真

大阪国際がんセンター 血液内科 新開 泰宏

共同研究機関及び研究責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病理部 百瀬 修二

さいたま赤十字病院 病理診断科 安達 章子

新松戸中央総合病院 血液内科 守屋 慶一

検体の測定

埼玉医科大学総合医療センター 病理部 百瀬 修二

お問い合わせ先

大阪国際がんセンター血液内科 藤 重夫(内線 6476)

〒541-8567 大阪市中央区大手前 3-1-69

電話番号 06-6945-1181(代表)